

11ぴきのねこラッピングバスが あらたな役割でデビュー!!

町出身の漫画家故・馬場のぼるさんの人気絵本「11ぴきのねこ」シリーズのキャラクターたちがデザインされた「11ぴきのねこラッピングバス」がこのほど、岩手県北自動車(株)から町に寄附され、三戸町立図書館と関根ふれあい公園に展示されました。

11ぴきのねこラッピングバスは、町の広告バスとして、平成28年10月に1台目のピンク色の車両が運行を開始しました。好評につき、翌年7月には、2台目として黄色の車両が加わり、主に三戸町と八戸市のショッピングセンター・八戸ラピア間を運行していました。

昨年、2台とも車両の老朽化により、惜しまれながら路線バスの運行を引退。南部バス三戸営業所で大切に保管されていました。

このラッピングバスは、全国でも話題となり、忠実に再現した模型も販売され、国内の11ぴきのねこファン、バスファンだけではなく、世界のファンのもとへも旅立ちました。

町では、いただいた車両を11ぴきのねこのまちづくりの更なる推進と町民の皆さんの施設利用の利便性向上のために、有効に活用することとしました。

外装は運行当時のまま、特製のオリジナルナンバープレートを着装。車内では、絵本に登場するキャラクターが座席やつり革など、いたるところで皆さんをお出迎えします。また、馬場のぼるさんの絵本を楽しむことができるよう、特設の図書コーナーを設置しており、11ぴきのねこのせいかいを存分に味わえる空間となっています。

7月20日に行われた展示記念セレモニーでは、松尾和彦町長から岩手県北自動車(株)に感謝状が贈られ、いつも公園を訪れている三戸保育園児の年長組10人も駆けつけ、車内の見学をしました。松原果凛ちゃん(5歳)は「11ぴきのねこがいっぱいで、かわいかった。初めて、運転席に座ったよ」と笑顔で話しました。





ピンクの車両は図書館に設置



青森テレビ わっち!! で紹介



車内の広告も運行当時のまま



『イチ、ニのサン、ニャゴー!!!』でテープカット



11匹のねこワールドにようこそ!



つり革にも11匹のねこ



馬場のぼる作品を楽しめます



町の特産物をしっかりとPR

